

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営方針

基本理念に則り、新たなサービスを積極的に提供することにより、永続的な利益の計上と長期的な成長を目指す

ROIC
4.25%

ROE
8.90%

DEレシオ
0.24倍

PBR
0.94倍

2 中長期の経営戦略

1. 姫路ラボ稼働率向上

2024年10月竣工。既存サービス分散、HRTech新規サービス、セキュリティバックアップサービス等を2025年度に開始。生成AI活用での新事業領域進出を目指す

3. 上場維持・市場区分変更

グロース市場上場維持基準への適合を目指しつつ、スタンダード市場への変更申請と名古屋証券取引所メイン市場への新規上場申請を実施中

2. 人材確保・育成

採用枠拡大で人材確保。生成AIを中心とした新規技術の教育基盤整備で優秀人材育成を推進

4. ガバナンス体制強化

コーポレートガバナンス・コードに準拠し、経営透明性向上と意思決定迅速化に取り組む

3 対処すべき課題

① 設備投資後の収益化

- ・ 姫路ラボ&サーバセンターの稼働率向上が売上増に直結
- ・ 複数の新規サービス立ち上げで収益化を加速化
- ・ 生成AI活用での新事業領域開拓

② 人材確保・育成の体制整備

- ・ 採用枠拡大による競争力のある人材確保
- ・ 生成AI等新規技術の教育基盤整備が急務
- ・ 持続的成長の重要な経営課題として位置付け

③ 上場維持基準への適合

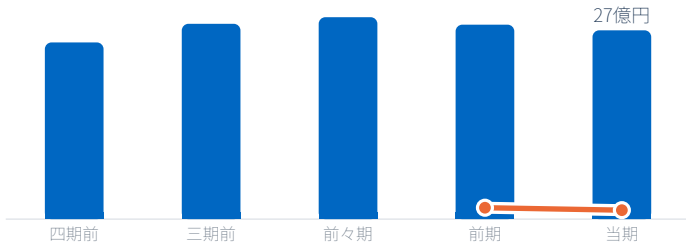
- ・ 2026年3月31日までに時価総額基準達成が必須
- ・ スタンダード市場変更・名古屋上場で多角的対応中
- ・ PBR向上によるROIC・ROE改善が課題

面接で使えるポイント

- ・ クラウドサービス業界のDX・生成AI技術の急速な進化に対応し、2024年10月竣工の姫路ラボで新規事業展開を目指す姿勢
- ・ ROIC4.25%、ROE8.90%と資本効率向上を実現しながら、採用枠拡大で人材確保に注力する成長戦略
- ・ グロース市場上場維持とスタンダード市場変更申請を同時進行し、透明性・信頼性重視の経営体制を構築

証券コード 2351

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに
情報通信・サービス関連の上場企業であり、連結売上27億円

主力事業・セグメント

・ 情報・通信業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

・ -（判定に必要な数値が未開示）

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
27億円営業利益率
4.8%財務健康度
55点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 35.6（当サイト算出の参考指標）

平均年収
522万円

情報・通信業内 527位/592社

平均年齢
40.7歳

情報・通信業内 161位/593社

平均勤続
15.1年

情報・通信業内 32位/593社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: (株) A S J 【2351】：決算情報

